

## Lesson28

「 V- (ます) + ながら、～ 。」

表示一個人同時進行兩個動作、即前項動作和後項動作同時進行的句形。

「 ながら 」接於動詞的「ます形」之後。

後句所敘述的動作為主要動作。

例)

→ 音楽<sup>おんがく</sup>を聞き<sup>き</sup>ながら、料理<sup>りょうり</sup>をします。

→ お茶<sup>ちや</sup>を飲み<sup>の</sup>ながら、話<sup>はな</sup>しませんか。

→ 道<sup>みち</sup>を歩<sup>ある</sup>きながら英語<sup>えいご</sup>の単語<sup>たんご</sup>を覚<sup>おぼ</sup>えます。

→ ラジオのニュース<sup>き</sup>を聞き<sup>き</sup>ながら、車<sup>くるま</sup>の運轉<sup>うんてん</sup>をします。

→ 彼は宿題<sup>かれ しゅくだい</sup>をする時<sup>とき</sup>、書<sup>か</sup>きながら、読<sup>よ</sup>みます。

→ 昼間<sup>ひるま</sup>、会社<sup>かいしゃ</sup>で働<sup>はたら</sup>きながら、夜学<sup>よる がっこう</sup>校<sup>べんきょう</sup>で勉強<sup>べんきょう</sup>します。

→ 兄<sup>あに</sup>は辞書<sup>じしょ</sup>を引き<sup>ひ</sup>ながら、日本語<sup>にほんご</sup>の新<sup>しん</sup>聞<sup>ぶん</sup>を讀<sup>よ</sup>んでいます。

→ 昨日<sup>きのう</sup>アイスクリーム<sup>た</sup>を食<sup>た</sup>べながら、友<sup>とも</sup>達<sup>だち</sup>と公<sup>こう</sup>園<sup>えん</sup>を散<sup>さん</sup>歩<sup>ぽ</sup>しました。

→ 店<sup>みせ</sup>の<sup>ひと</sup>人<sup>りょうり</sup>が料<sup>なり</sup>理<sup>りょうり</sup>を並<sup>な</sup>びながら、一<sup>ひと</sup>つ<sup>ひと</sup>一<sup>りょうり</sup>つの料<sup>なまえ</sup>理<sup>た</sup>の名<sup>かた</sup>前<sup>めい</sup>と食<sup>た</sup>べ方<sup>かた</sup>を  
説<sup>せつめい</sup>明<sup>めい</sup>します。

「 V-て います 」

① 表示繼續中的動作

→ 今<sup>いま</sup>テレビ<sup>み</sup>を見<sup>み</sup>ています。

→ ご飯<sup>はん</sup>を食<sup>た</sup>べています。

② 表示某種動作進行的結果。

→ 木村<sup>きむら</sup>さんはもう結<sup>けっ</sup>婚<sup>こん</sup>しています。

→ 田中<sup>たなか</sup>さんは大<sup>おお</sup>阪<sup>さか</sup>に住<sup>す</sup>んでいます。

→ 私<sup>わたし</sup>は佐藤<sup>さとう</sup>さんを知<sup>し</sup>っています。

③ 經過長時間反覆進行的動作、表示職業和身分等。

→ 私<sup>わたし</sup>は自<sup>じ</sup>動<sup>どう</sup>車<sup>しゃ</sup>の会<sup>かい</sup>社<sup>しゃ</sup>で働<sup>はたら</sup>いています。

④ 本単元的「 V-て います 」表示個人習慣性動作。

表示習慣之意的「V-ています」多與「いつも」「毎日」「毎週」等副詞一起使用。

→ 暇<sup>ひま</sup>な時<sup>とき</sup>、いつも音<sup>おん</sup>楽<sup>がく</sup>を聞<sup>き</sup>いています。

→ 休<sup>やす</sup>みの日<sup>ひ</sup>はいつもスポ<sup>す</sup>ー<sup>ぽ</sup>ー<sup>ー</sup>ツをしてしています。

→ 毎<sup>まい</sup>週<sup>しゅう</sup>料<sup>りょう</sup>理<sup>り</sup>教<sup>きょう</sup>室<sup>しつ</sup>に通<sup>かよ</sup>っています。

「 普通形 + し 」

「 ～ も ～ し、 ～ も ～ し～。」

① 此句形是表示列举幾個事物及現象的句形

使用「 ……し、……し、～ 」的形式、可以将若干個事物及現象連接起来。「し」為接續助詞、前面為普通體。

→ ここは静<sup>しず</sup>か<sup>だ</sup>し、涼<sup>すず</sup>しいし、きれいです。

→ あ<sup>あ</sup>の女<sup>じょ</sup>性<sup>せい</sup>は、やさしいし、歌<sup>うた</sup>も上<sup>じょう</sup>手<sup>ず</sup>だし、きれいです。

→ 頭<sup>あたま</sup>も（が）痛<sup>いた</sup>いし、喉<sup>のど</sup>も（が）痛<sup>いた</sup>いです。

→ 食<sup>た</sup>べる物<sup>もの</sup>もないし、飲<sup>の</sup>む物<sup>もの</sup>もありません。

→ 彼<sup>かれ</sup>は勉<sup>べん</sup>強<sup>きょう</sup>もしないし、仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>もしません。

※ 把助詞「が」和「を」換成「も」心情也會變得更強烈  
包含有「更」、「而且」的那樣心情。

② 表理由、原因

原因、理由的表達方式「 ～ から」為其一方式。但是原因理由有兩個以上時、用「 ～ し、 ～」來表示。

→荷物が多いです。理由① + タクシーで帰ります。

雨が降っています。理由②

→荷物<sup>にもつ おお</sup>が多いし、雨<sup>あめ ふ</sup>が降っているし、タクシーで帰<sup>かえ</sup>ります。

→荷物<sup>にもつ おお</sup>も<sup>も</sup>多いし、雨<sup>あめ ふ</sup>も<sup>も</sup>降っているし、タクシーで帰<sup>かえ</sup>ります。

→天気<sup>てんき</sup>も<sup>も</sup>いいし、日曜日<sup>にちようび</sup>だし、海<sup>うみ い</sup>に行きましょう。

→お金<sup>かね</sup>も<sup>も</sup>ないし、家<sup>いえ</sup>も<sup>も</sup>ないし、結婚<sup>けっこん</sup>できません。

③ 「 ～ し、 ～」一般並列兩個以上的理由、但也有只陳述其中一個的時候、這時和「 ～ から」不同暗示還存在別的理由。

→きょうは寒いし、どこも出かけません。

それに → 用於在某種事情和狀況的基礎再加上一種事情和狀況時。

→この花<sup>はな</sup>は色<sup>いろ</sup>がきれいです。それに匂<sup>にお</sup>いもいいです。

→あの店<sup>みせ</sup>は安<sup>やす</sup>いです。それにおいしいです。

→このレストランは料<sup>りょうり</sup>理<sup>り</sup>もおいしいし、値段<sup>ねだん やす</sup>も安<sup>やす</sup>いし、それにきれいです。

それで → 把前句視為後句所陳述的理由和原因時、和「ですから」、「だから」相近。

→A:このレストランは料<sup>りょうり</sup>理<sup>り</sup>もおいしいし、値段<sup>ねだん やす</sup>も安<sup>やす</sup>いです。

B:それで人<sup>おお</sup>が多いんですね。